

東京片貝会報

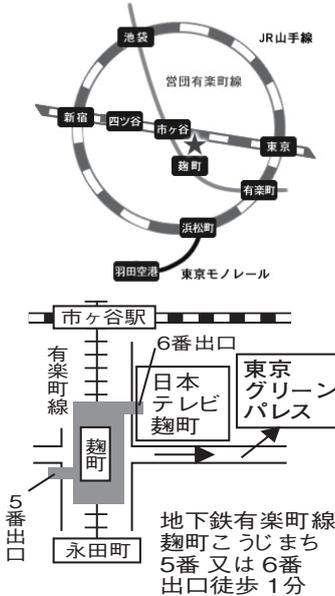
発行 東京片貝会
責任者 本田秀幸
〒146-0084 大田区南久が原 2-32-10
電話 090-4831-5580

東京片貝会 第59回 総会御案内

足早に季節が駆け抜け初夏を思わせる陽気になって、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。新年会からすでに半年が経とうとしております。今年も総会の開催が近づきました。今回も郷里より来賓をお招きし第59回総会を左記の要領で開催いたします。会場は麹町の東京グリーンパレスです。皆様お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ち申し上げます。

記

日時 平成29年6月25日(日)午後一時(正午より受付)
会場 東京グリーンパレス(全国市町村職員共済組合連合会 東京都千代田区二番町二番地)
電話 03-5210-4640
会費 八、〇〇〇円
*お願い 返信は6月15日(木)までをお願いします。



会の動き

- 理事会・役員忘年会 12/11
於・新潟県人会館
本田会長以下〇名
- 顧問〇名 参加
- ・案内状・会報発送
・新年会打ち合わせ
新年会 1/29
於・新潟県人会館
出席 会員62名
来賓2名
- 理事会 4/16
於・新潟県人会館
本田会長以下17名
・報告・検討事項
・会計報告
・教育講演会概略発表
・総会打ち合わせほか

同級会の動き

慰十六会 親睦旅行
11月の第2日曜・月曜を恒例の親睦旅行として長年続いており、今年も湯田中温泉で40名前後の参加者が和やかに過ごしました。
来年は古希を迎えますが皆

元気で頑張ります。
(山家恵美子様短信より)
永遠会 関東同級会
片貝では毎年新年とお盆に同級会を開催していますが、関東在住の私達はなかなか参加できません。そこで東京片貝会新年会席上で相談して上野での同級会を企画しました。

3月24日「かに道楽」上野店に7人が集まり会食後、咲き始めの上野公園を散策し、立ち飲みとつまみでちよつと花見気分を味わいました。いつ会っても同級生はいいですね。



会員短信

日下部政子(昭2年卒) 母は3月に百二歳を迎えます。元気にしております。(ご家族)
芋川トシ(昭5年卒) 新米をありがとございます。大変美味しく頂戴致しました。
江澤キヨ(昭19年卒) 足腰悪い欠席ですが、会報あり

がとう。懐かしく読みました。上田益美(昭19年卒) 思いがけずご親切を頂きました。心よりお礼申し上げます。
長岡利夫(昭23年卒) 生憎当日会議の都合で欠席です。
木村ナガ(昭24年卒) いつも会報をお送りいただきありがとうございます。
渡辺幸子(昭25年卒) 都合で欠席致しますがどうぞ盛会でありますよう祈っております。
小宮善徳(昭29年卒) 高齢になり東京片貝会も今年で終いにしたいと思えます。
吉井均(昭29年卒) 楽しみにしていましたが所用で出席がなわず盛会を祈念致します。
吉井ミチ子(昭30年卒) 体調不良で欠席です。皆様のご多幸をお祈り致しております。
吉原幸夫(昭33年卒) 地元のご催しと重なり行けません。宜しくお願い致します。
高波国男(昭35年卒) 同級生(慰十六会) がもう少し多く出席するといいですね。
高野鈴子(昭37年卒) 今回は欠席ですが、またお会いする日を楽しみにしております。
本田利美(昭38年卒) 東京片貝会の継統を願っています。
内藤富美子(昭43年卒) 元気にしております。皆勤が途切れ残念ですが欠席致します。
渡辺由紀子(昭49年卒) 近々同級生と参加させて頂きます。

片貝の伝説

巫女翁(ミッコウジサ)
片貝の巫女翁(ミッコウジサ)は、嘉永年間(1848~1853)に小千谷の野口家より伝授されたと伝えられます。また、神明社が再建された元治元年(1864)に奉納芸として導入されたという説もあります。伝承元の小千谷横町の巫女翁の起源は明和年間(約250年前)と言われています。片貝では、昭和48年頃五ノ町の雨降り地藏様の祭りで踊ったのを最後に途絶えました。



その後17年を経た平成2年に片貝芸能保存会が発足、巫女翁の修復、はやし、踊りの習得が始まりました。そして途絶えてから22年後の平成7年、感動に包まれて復活上演されました。その後、町のお祭りを中心に上演し、また保存、伝承に努めています。
挿絵・文 小宮善興氏(陽光会)著「片貝の伝説」より

心の風景は真つ白な雪原 新年会開催

平成29年1月29日
於 東京新潟県人会館

天候に恵まれ、来賓2名
会員63名 総勢65名の方々か
らご参加いただきました。

ご来賓として東京新潟県人
会副会長 曾山孝一様、片貝
煙火工業 本田正憲様にご臨
席いただきました。

本田秀幸会長より新年のご
挨拶のなかで、参加者は2名
減も若い方の参加が増えてき
ていることが触れられました。
また各方面からご協力く
ださり、片貝煙火工業様、煙
火協会様、JAおぢや様からは
カレンダーを寄贈していただ
きました。このほか、味の
れん様のお菓子を覽生様のお
土産として用意しました。

会報の発刊に関して、広告
出稿を片貝の企業様からご快
諾いただいております、今後も継
続していきたいことや、秋大
祭では引き続き相撲機敷で会
員各位が集まって頂ける柗席
を用意させていただくことな
どが伝えられました。

母校を励ます会の活動につ
いて、徳永隆広理事(さざな
み会) から講演会について報
告がありました。演者は、ニ
ューヨークを拠点にして活躍
される友心会の直子・ディカ
ンさん(八島出身)にご登壇

いただきました。多方面に多
様な才能を発揮する人材を育
む片貝町の風土に触れ、図書
費寄付を含む地元児童・生
徒への継続的な支援への感謝
の意を学校関係者からの謝辞
と併せてお伝えしました。

ご来賓の片貝煙火工業 本
田正憲様よりご挨拶を賜り、
積雪の状況は例年よりも少な
く楽な反面、土木業など冬が
閑散期の方々にとって、雪下
ろしや除雪仕事が減って困っ
ているということ、また学校
の児童数が一学年30人を割り
込みそうに減少してきている
のをなんとか食い止めたいと
いったことなど故郷の近況に
ついてもお伝え頂きました。

乾杯の音頭を白樺会安達弘
様よりおとり頂き、ご挨拶と
して、西年にあたり飛躍の年
として会員各位の更なる発展
に向けた活躍を祈念して乾杯
となりました。

熱気に満ちて語らい、笑い
声が響く会場では恒例のカラ
オケ大会、懐かしの歌を年代
を共有する仲間と肩を組みな
がら高らかに声を上げ、思い
を共有するす一時が一番のご
馳走かもしれません。
メは恒例の木遣り大合唱で



す。片貝という故郷を同じく
する老若男女が大きな円とな
って吟じる歌声が故郷へ届け
とばかり響き、今年も素晴ら
しい新年会となりました。

【ご来賓出席】(敬称略)

曾山孝一(東京新潟県人会副
会長)、本田正憲(片貝煙火工
業代表取締役)
【会員出席者】(敬称略)
(昭和17〜30卒)

中川克子、阿部修次、安達和
三、神林勝夫、黒崎晴郎、佐
藤安治、大塚順一、小宮秀雄、
本田善一、佐藤祐一、松岡規
子、荒木ムツ、藤塚浩治、黒
崎 勝、吉原 宏、木下 伸、
鯉島昭雄、松本キイ、宮下愛
子、本田十三雄
(昭和31〜39卒)
大塚國夫、小野塚清、黒瀬良
子、小宮善興、芝 満雄、藤
塚 悟、諸我時夫、安達 弘、
五十嵐哲郎、黒崎正雄、小宮
三郎、芝 文夫、高波国男、

山家恵美子、木村 隆、大矢
とらじ、本田秀幸、松井京子、
小野塚和夫、吉田邦男、芝
強、佐藤正志
(昭和40卒)

相崎俊夫、岡真知子、岸井久
美子、太刀川和雄、安達徹
小林和弘、安達亮一、安達裕
子、藤塚 弘、藤塚伸雄、安
達智子、徳永隆浩、徳永雅史、
松山朱実、堀井ひとみ、村上
珠美、佐藤 潤、吉田貴裕
相崎清輝、友田 啓、白石
知子、今井由美子
【東京片貝会へのご寄付】
左記の方々から東京片貝会へ

人間探訪 第1回 「陽光会 藤塚 悟氏」

中学を卒業して「あ、上野駅」に着き東京片貝会会員でもある
焦点に就職したがその仕事に合わなかった。そこで現在の職業に
再就職し見習いから研鑽努力し、独立してから今年五十周年を迎
えられた。その記念に現社員と退職した功労者にも敬意を表して
一緒に熱海から初島へと一泊二日の慰安旅行を行われた。そんな
新越精機株式会社の会長藤塚悟さん(陽光会)のご紹介です。
ご存じと思いますが、藤塚さんは早くから東京片貝会で活躍さ
れ、ヤングの会や母校を励ます会々長から第6代東京片貝会々長
を勤められました。事業でも平成
19年度に葛飾区を代表する優良工
場として表彰されています。また
平成25年には関連する企業経営者
を片貝に引率され、同世代の企業
者達と情報交換され幅広い向上を
目指しておられます。そんなお人
柄から同級の陽光会でも中心的な
存在であり、東京片貝会の重鎮と
してこれからもご指導を願ってい
る今日です。



阿部修次

ご寄付を頂きました。
厚く御礼申し上げます。
(日28・4・1〜日29・2・27)
(敬称略、順不同)
日下部政子(2)、浅田松夫(21)、
黒瀬良子・浅田美智夫(31)、小
宮三郎(35)、勝保二司(42)、小
野塚東一(片貝)阿部修次(21)、
大塚順一(22)、芝 満雄・小宮
善興・大塚國夫(31)、安達 弘
(33)、松井京子・本田秀幸(37)、
小野塚和夫(38)、安達 徹(41)

東京片貝会の年会費は二千元で
す。郵便振込みは窓口よりでき
るだけATMを使用ください。手数
料差50円も節約!!

「雪国で手塩にかけて作った“白い宝石”」

米どころ雪国おぢやでつくられた
“魚沼産コシヒカリ”
清らかな水と肥沃な土壌で丹精込めて
作った逸品です
おいしさと安心を追求した黄金色の稲穂
から精米された
“白い宝石たち”
その炊きあがりの艶と風味の良さは魚沼
産ブランドの名にふさわしい逸品です

詳細は
⇒

JA 越後おぢや
〒94-0021
新潟県小千谷市土川1-12-25
☎0258-83-3525

諸我石材店
墓碑・石籠
石材加工販売

諸我和成
〒947-0101
小千谷市片貝町一の町
☎0258-84-2317

税務相談
お気軽にどうぞ
もろが会計事務所

諸我時夫(昭32年卒)
柏市増尾8-22-9
自宅☎04-7176-4528
事務所03-3888-4190

※有料企業広告を募集※

母校を励ます会 お知らせ

暖かいご支援、ありがとうございます

母校を励ます会では、皆様下欄温かいご支援を頂き小・中学校への図書や贈呈と教育講演会を開催しています。この活動について、嬉しい感想が寄せられています。小学校からは、「母校を励ます会から贈呈された図書を洋々文庫と名付けられ親しまれています。毎年楽しい本がたくさん入ります。」中学校では、「図書委員会が中心となり購入する本を検討しています。なんととってもシリーズもの等は全巻揃えられることが嬉しいです。図書室は片貝町が眼下に見下ろせる校舎三階にあり、床は絨毯敷きになっていて広い部屋です。」教育講演会について、「片貝中学校を卒業した先輩達から有益な話をいただき、努力の上に活躍されていることを誇りに思い、私たちが負けないように頑張ろうという気持ちになります。」など、喜びと感謝を込めたお便りを沢山頂いております。子供の頃、心に残った言葉や感銘、感動を受けた本は、人生の糧のなり夢を与え心の支えとなってくれることでしょう。

の視点から具体例を挙げてお話しして頂く予定です。
「母校を励ます会」基金
 ご協力者名

敬称略・順不同

太刀川三郎(15)、松下利夫(18)、江澤キヨ(19)、友田善智・豊島文枝(22)、長岡利夫・丸山恭次(23)、大橋洋子(27)、相内テル・本田正弘(28)、野崎真知子・松本キイ・吉井均(29)、安達弘之(30)、浅田美智夫・小野塚清・黒瀬良子・軍司雅子・小宮善興(31)、諸我時夫(32)、井上知子(34)、小宮三郎・高波国男(35)、大矢とらじ・寺町明美・吉原敏明(37)、浅井忠明・本田利美(38)、谷内弘(39)、岸井久美子(40)、勝又一司(42)、内田京子・内藤富美子(43)、山川裕見子(45)、高野昭人(47)、村上珠美(54)、相崎清輝(57)、白石知子(60) 阿部修次・佐藤安治・安達和三・神林勝夫・黒崎晴郎(21)、大塚順一(22)、荒木ムツ・佐藤祐一・藤塚浩治・松岡規子(27)、黒崎勝・吉原宏(28)、鯉島昭雄・宮下愛子(29)、大塚國夫・藤塚 悟・芝 満雄(31)、諸我時夫(32)、安達 弘(33)、五十嵐哲郎・黒崎正雄(35)、木村 隆(36)、松井京子・本田秀幸(37)、小野塚和夫・

故郷の風景

若杉会 佐藤祐一
 10年以上にわたってご厚意で東京片貝会ホームページに毎月、片貝の風景写真を載せていただきました。
 私事で大変恐縮ですが、はじめは実家に一人で、その後特別老人養護施設でお世話になった母を見舞いに毎月3〜4日帰省し、朝晩町内を散歩していました。その際、小型カメラで目にふれた風景、草花等を写していました。はじめはできるだけ珍しい場面をと心掛けたのですが、狭い町内、ほぼいろんなところを撮り尽くしてしまいあとは定点観測と開き直り同じようなところが多くなりました。



雪が降る
きのうもきょうも
歩いている

歩いて行ける 時のありせば
 若杉会 松岡規子氏詠む
立志級友会より解散報告
 阿部修次

成人より片貝の伝統に沿って古希まで、各厄年の行事の後も今日まで63年続いた立志級友会は平成28年5月の出会いの旅を最後に解散しました。関東地区では28年11月に最後の宴を催し、故郷片貝を愛し友情の絆を終生大切にしていこう事を誓い合いました。
 「故郷や 父母在りし日の山や川」

母校を励ます会にご寄付をお願いします！

「カラスは白い」 佐藤祐一著

「打たれ強いな」とよく言われたのは、白いカラスのおかげか。
 自然の風景、趣味、気になる社会現象、旅の思いで、身近な出来事・・・
 折々に綴った身辺抄エッセイ

文芸社 5月刊行

◎定価 本体 1,500円(＋税)

印伴纏、のれん、手拭
 各種染織品誂処
 日本伝統織物 片貝木綿製造元

(有) 紺仁

〒947-0101
 新潟県小千谷市片貝町4935
 ☎ 0258-84-2016
 http://www.konni-aizome.com
 konni@echigo.ne.jp

株式会社 片貝製作所

球状黒鉛鑄鉄・C V黒鉛鑄鉄
 ねずみ鑄鉄・合金鑄鉄 部品製造
 〒947-0101
 新潟県小千谷市片貝町10367-10
 ☎ 0258-84-2322 FAX 0258-84-3805
 e-Mail kks-info@katakai-mfg.co.jp
 URL: http://www.katakai-mfg.co.jp

私たちは、お客様のハコぶと演出、そして想いをかたちにする集団です！

段ボール・ブラ段・花火玉皮...

フーゲツ 検索

段ボール製家具・遊具...

段屋風月 検索

小千谷市片貝町 2489-1
 電話 0258-84-4141

ふるさと・は・今

H28年12月より
H29年5月まで

母校近況

■小学校 楠田教頭先生

平成29年度がスタートし、今春は28名の一年生を迎え、全校児童は昨年度より9名減の192名となりました。この先、全校で200名を超えることはなさそうです。やはり年々子ども数が減っていくのは、地域にとってもとても寂しいものです。

■今年度初めての試みとして、六月四日に『片貝町地域合同防災訓練』を実施します。

当日朝、地震発生想定で各町内の第一避難場所に集まります。その後、登校班と地域の方とで、JA様と共催の『片貝町防災・健康ウォーク』も予定しています。

六月に実施する六年生の佐渡修学旅行では、相川小学校と地域の伝統芸能の交流会を計画しています。伝統のある片貝の木遣と相川音頭を、互いにしっかりと伝え合ってきたのです。

児童の活躍◆全日本小学生相撲優勝大会(両国国技館)ベスト8五年黒崎碧琉◆小千谷市学童相撲大会(一位のみ)一年女子大塚煌莉 四年男子浅田晃誠四年女子藤塚美礼、

H28年12月より
H29年5月まで

五年男子黒崎碧琉六年男子淺田優心団体男子優勝三年小林脩莉・四年淺田晃誠・小宮拓真・大塚湊多・西澤裕太・五年黒崎碧琉・六年淺田優心◆市民スキー大会四年女子一位藤塚美礼 三年以下女子一位二年藤塚まり◆県硬筆書き初め大会読売新聞新潟支局長賞四年鈴木るう 特選二年吉原璃子◆新潟県書き初め大会特選四年鈴木るう

■中学校 相田教頭先生

片貝中学校の平成28年度後半、冬のクロカンスキーでは、品田萌衣さんが全国大会に出場、上位入賞するなど大活躍でした。卓球部女子は、12月の中越地区新人大会を勝ち上がり、団体・個人とも県新人大会出場を果たしました。初めて取り組んだ「ふるさと学習」は3年生が半年間をかけて取り組まれました。「佐藤佐平治」や「朝陽館・耕読堂」について調べていく中で、片貝に寄せる先人の思いや歴史を学ぶことができました。

平成29年度がスタートし、生徒は学習に部活動に熱心に取り組んでいます。今年には創立70周年記念の年でもあります。記念式典では、東京片貝会教育講演会を記念講演として行う予定です。

中越地区新人卓球大会・団体5位、個人2年の部7位堀井のあ、9位神林莉緒、17位本田歩、個人1年生の部17位小宮 愛菜、17位大淵真輝◆小千谷市1年生バレーボール大会・2位◆第40回新潟県アンサンブルコンテスト・銅賞金管六重奏、銅賞木管六重奏◆第5回新潟県管打楽器ソロコンテスト・銀賞大久保羽菜◆新潟県中学校スキー大会・クラシカル7位、フリー8位品田萌衣◆全国中学生スキー大会・クラシカル9位品田萌衣◆全日本中学生選抜スキー大会・クラシカル2位、フリー6位品田萌衣◆中越教育美術展・金賞佐藤樹里◆第16回創造ものづくり教育フェア・優秀賞品田萌衣◆第49回手紙作文コンクールはがき作文部門・金賞本田颯◆文芸おぢやジュニア版・優秀賞品田耕助、吉井彩花、阿部愛也、宮島音色、品田琴子、芝遥斗、横山瑠奈、神林千尋、高橋翼、藤塚美咲、宮島永遠

若え衆登場

村上珠美

友心会(昭和57卒卒) 遠くて近い故郷の存在

片貝祭りに帰省したくても、なかなか子どもが小さかったり、平日に帰れなかつたりし、成人の花火からずっとテレビで見たり、動画を見たりのみで済んだ。去年五十歳の花火に30年ぶりに出席でき、久しぶりの同級生、片貝祭り、片貝の花火、本当に懐かしく楽しい時間でした。そこで久しぶりに会った堀井ひとみさんに、東京片貝会のことを聞きました。名前は聞いたことがあったものの、私なんか出席してもいいのかと思っていました。でも誘われ新年会に出席させていただきました。年が近い先輩方はもちろん、ご年配の先輩方のお元氣な姿を見て、初めて出席したのになぜか懐かしい気分になりました。

これからは、お手伝いできることはお手伝いし、こちらでできた片貝のつながりを大切にしていきたいと思っています。またできるだけ出席させていこうと思っておりますので、よろしく願っています。

町おこし

町おこし

・秋季节トボール大会 片貝スポーツセンターに28名が出席し、当日チーム分けし、①C組②E組③D組の結果だった。
・小学生力士躍進 両国国技館で第29会全日本小学生相撲優勝大会が開催され、黒崎碧琉君が小5部門でベスト8となった。
・ミニバレーチーム大暴れ 第13回蒼紫ライオンズ杯でAクラス16チームと競って優勝した。
・際立つ織物の伝統芸 三之町の松井均さんが、伝統的工芸産業の振興に貢献したとして、小千谷縮の産地から唯一、経済産業大臣から厚労省を受賞された。
・無雪の中、塞ノ神開催 今年には会場に全く雪がなく、神社の舞殿から42歳厄年の飛翔会の面々が福餅をまかれ、モックラモチやおんまいどなどが練り広げられた。
・ダブル優勝! 二之町の藤塚美礼さん、まりさん姉妹は、第37回黒姫高原クロスカントリースキー大会でそれぞれ優勝した。美礼さんは三連覇を果たした。
・文芸の分野でもきり活躍 稲葉の本田颯君(中1)は第49回手紙作文コンクールで、はがき作文部門で全国四万七百五十五点の中から第

会員計報

会員計報

清水敏雄様(昭21卒、立志会) 金井春江様(昭23卒、仲竹会) 高野正巳様(昭31卒、陽光会) あとがき 1年で感じる季節の移り変わりは彩りが鮮やかです。故郷の風景を思い描きながら作成でした。多謝藤塚

三席として金賞を受賞した。惜しまれつつも閉鎖

三席として金賞を受賞した。惜しまれつつも閉鎖

片貝スポーツセンターは市内唯一の屋内人工芝施設だったが、耐震診断の結果改修不能となり、3月で閉鎖された。
・全国初出場で入賞 全中スキー大会でも9位に入賞の品田萌衣さん(中2)はJOCジュニア五輪スキーでも5kmクラシカルで準優勝を果たし大活躍をしている。
・長岡のスポ小バレーでも 同大会女子B部門で片貝ミニバレークラブが優勝した。
・東京に片貝がやってきた 3/13花火の映像や木遣りを通じ祭りに感じてもらうと「永田町でんではっこ」が永田町グリッドで催された。
・お祭りで会いましょう! 片貝中の南雲教頭先生は長岡南中に異動され、相田教頭先生が新たに赴任された。
・私たちと一緒にやるっ! 片貝町発の地域おこし協力隊員としてえ、若葉出身の佐藤勇介さん(21)が赴任した。